

果実生産情報 No. 1

令和6年産 主要果実 作柄調査
(うめ)

令和6年4月1日時点

全国果樹研究連合会
日本園芸農業協同組合連合会

★ ★ ★ 全般的概況 ★ ★ ★

品 目 : うめ

令和6年4月1日時点

主産17県の栽培面積は7,654ha（前年比99%）、収穫予想量は35,094 t（前年比56%）と見込まれる。全国の収穫予想量は、53,500 t（農林水産統計令和5年産実績95,500 tの56%）程度と推定され、平年比（過去5か年平均）59%と前年・平年より大幅に少ないことが見込まれる。

開花日は、産地・品種によってバラツキがあるが、1月～2月の気温が高かったことにより、前年より7日～18日、平年より7～14日程度早かった。

着果状況については、着花量は確保できていたものの、開花期以降の天候不良や低温等により、ミツバチの活動が悪かったこと等から、結実不良が見られた。

加えて、主力の和歌山県では3月20日に主産地域で降雹被害があり、スレ果等が発生していることから、さらに下方修正の可能性はある。

生育状況については、産地・品種によってバラツキがあるものの、開花期以降の低温により生育が鈍化したため、概ね平年並の生育進度となっている。

病害虫の発生については、一部産地でヨコバイ類・カメムシ類・灰色カビ病が散見される。

（注1）宮城県は栽培面積のみの報告である。また、茨城県・神奈川県は合計値のみで品種別の詳細は不明である。

（注2）（注1）により、合計値と詳細は一致しない。

（単位：ha, t, %）

品 種	栽 培 面 積		収 穫 予 想 量	
	本 年	前年比	本 年	前年比
小 梅	651	97	2,969	86
白 加 賀	835	99	2,456	65
南 高	4,645	99	25,168	50
そ の 他	909	99	2,116	68
う め 計	7,654	99	35,094	56

【日本園芸農業協同組合連合会】

令和6年産うめ 栽培面積・収穫予想量

(4月1日時点)

(単位:ha、t、%)

県名	系報告 数値※	小梅						白加賀						南高					
		栽培面積			収穫予想量			栽培面積			収穫予想量			栽培面積			収穫予想量		
		本年	前年	前年比	本年	前年	前年比	本年	前年	前年比	本年	前年	前年比	本年	前年	前年比	本年	前年	前年比
宮城		78	78	100				196	196	100				16	16	100			
茨城																			
群馬		69	71	97	420	513	82	552	561	98	2,230	3,510	64	87	89	98	420	610	69
埼玉		0	0	100	1	1	71	3	3	90	25	34	74	0	0	100	0	0	75
千葉		0	0	100	0	0	83	4	4	100	3	4	91						
神奈川																			
山梨		148	158	94	1,215	1,271	96												
長野		188	196	96	693	688	101												
静岡	※	3	3	100	21	24	87	1	1	89	3	3	100	1	1	100	4	5	89
三重	※	2	2	100	2	2	102	0	0	100	0	0	100	19	19	100	100	110	91
奈良	※							71	72	99	180	203	89	35	36	97	197	207	95
和歌山	※	135	137	99	512	794	64							4,412	4,450	99	24,200	49,174	49
徳島	※	4	4	100	5	13	38												
愛媛	※	9	8	113	45	66	68							9	9	100	28	34	81
福岡	※	8	9	94	40	64	63							10	11	95	64	94	68
佐賀	※	8	9	94	16	25	64	8	9	89	15	36	42	25	25	98	142	165	86
鹿児島	※													31	34	91	13	62	21
合計		651	674	97	2,969	3,461	86	835	846	99	2,456	3,790	65	4,645	4,690	99	25,168	50,461	50

(注1) 空欄は調査報告なし。

【日本園芸農業協同組合連合会】

(注2) 報告値に小数点以下の値が含まれるため、合計値とは一致しない。

(注3) 宮城県は栽培面積のみ、茨城県・神奈川県は合計値のみで詳細は不明である。

(注4) 静岡県のその他は「改良内田」等、三重県のその他は「古城」、和歌山県のその他は「古城」等、佐賀県のその他は「古城」、「秀梅」等である。

(注5) 徳島県のその他は「白加賀」・「南高」・その他の3つの合算。

(注6) 10a当たり収量は、報告値から算出。また合計欄は、宮城県を除く平均値。

令和6年産うめ 栽培面積・収穫予想量

(4月1日時点)

(単位:ha、t、%)

県名	系報告 数は 値※	その他						合計						合計値に対する 10a当たりの収量(kg)		
		栽培面積			収穫予想量			栽培面積			収穫予想量			本年	前年	前年比
		本年	前年	前年比	本年	前年	前年比	本年	前年	前年比	本年	前年	前年比			
宮城		71	71	100				360	360	100	-	-	-	-	-	-
茨城								289	289	100	985	985	100	341	341	100
群馬		146	148	99	570	960	59	854	869	98	3,640	5,593	65	426	644	66
埼玉								3	4	91	26	35	74	867	875	99
千葉								4	4	100	3	4	91	86	95	91
神奈川								325	330	98	1,400	1,390	101	431	421	102
山梨								148	158	94	1,215	1,271	96	821	804	102
長野		49	49	100	165	157	105	237	245	97	858	845	102	362	345	105
静岡	※	1	1	90	4	4	92	5	6	96	31	35	89	591	640	92
三重	※	3	3	100	25	25	98	24	24	100	127	137	92	525	567	92
奈良	※	74	75	99	312	325	96	180	183	98	689	734	94	383	401	95
和歌山	※	515	521	99	883	1,393	63	5,062	5,108	99	25,595	51,361	50	506	1006	50
徳島	※	26	26	100	50	64	78	30	30	100	55	77	71	183	257	71
愛媛	※	3	3	100	6	6	94	20	19	105	79	107	74	394	563	70
福岡	※	14	14	98	43	89	48	33	34	96	147	247	59	445	726	61
佐賀	※	7	8	94	58	88	66	49	51	95	231	313	74	475	615	77
鹿児島	※							31	34	91	13	62	21	42	182	23
合計		909	919	99	2,116	3,111	68	7,654	7,748	99	35,094	63,196	56	430	537	80

(注1) 空欄は調査報告なし。

【日本園芸農業協同組合連合会】

(注2) 報告値に小数点以下の値が含まれるため、合計値とは一致しない。

(注3) 宮城県は栽培面積のみ、茨城県・神奈川県は合計値のみで詳細は不明である。

(注4) 静岡県のその他は「改良内田」等、三重県のその他は「古城」、和歌山県のその他は「古城」等、佐賀県のその他は「古城」、「秀梅」等である。

(注5) 徳島県のその他は「白加賀」・「南高」・その他の3つの合算。

(注6) 10a当たり収量は、報告値から算出。また合計欄は、宮城県を除く平均値。

令和6年産うめの作柄調査 生産概況（4月1日時点）

宮 城	<p>①開花日(前年比、平年比) うめの開花は、2月16日頃で、平年に比べかなり早まった。</p> <p>②着花(果)状況 2月21日、22日に大雪があり、2月下旬は平年より気温が低く経過した。また、3月中の最低気温は、-3°C前後で経過したため、結実量の不足が懸念されるが現時点では不明。</p> <p>③生育進度 開花前までは、暖冬の影響で生育は早まった。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 特になし。</p>
-----	--

茨 城	<p>①開花日(前年比、平年比) ・「南 高」満開日：2月 20日（前年比4日早い、平年比12日早い） ・「玉 英」満開日：3月 4日（前年比2日早い、平年比8日早い） ・「白加賀」満開日：3月 17日（前年比7日遅い、平年比3日遅い）</p> <p>②着花(果)状況 ・良好。 ・品種によって開花が早く、幼果期からの晩霜害の危険度が高まっており、継続した経過観察が必要。</p> <p>③生育進度 ・「南高」と「玉英」の開花・生育は、平年よりも早かった。 ・「白加賀」の開花・生育は前年よりも遅く、平年と変わらない開花となった。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 ・特になし</p> <p>※上記データの観測地点：茨城県農業総合センター園芸研究所（茨城県笠間市安居）</p>
-----	--

群 馬	<p>①開花日(前年比、平年比) 開花期は前年より14日早く、平年より12日早かった。主要品種「白加賀」の開花期に気温の低い日や風の強い日が多く、受粉状況は不良である。</p> <p>②着花(果)状況 着果状況はまだ確認できない。</p> <p>③生育進度 開花期前の気温はやや高く推移していたが、開花後の気温がやや低く推移しているため、生育は平年並である。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 前年度は夏秋の猛暑の影響により、モモヒメヨコバイの被害が多く見られた。</p>
埼 玉	<p>①開花日(前年比、平年比) 2月下旬から3月上旬に開花しており平年並か1週間ほど遅い。</p> <p>②着花(果)状況 気温の変化が激しく、蜂がうまく飛ばず着果状況は良くない。</p> <p>③生育進度 開花同様に平年並か、1週間ほど遅い出荷開始を見込む。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 JAふかや・いるま野 病害虫は特になし。 木の老化と生産者の高齢化により減少傾向。着果の状況も良くないことから不作となる見通しで、現状7割程度の出荷を見込む。</p>

千 葉	<p>①開花日(前年比、平年比) 平年より10日前後早かった。</p> <p>②着花(果)状況 開花が早かったこと、開花後気温が下がったこと、天気の悪い日が定期的にあつたため、ミツバチの活動が悪く、着果が平年より1~2.5割程度悪い。</p> <p>③生育進度 開花後気温が低いため、平年より少し生育は遅れているが、今後暖かくなる予報のため、平年並に生育は回復すると思われる。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 現状は発生がない。</p>
-----	---

神奈川	<p>①開花日(前年比、平年比) 大別して早咲きの「小梅」・「十郎」、中咲きの「杉田」・「南高」、遅咲きの「白加賀」とある中で、本年は開花が早くなった。主要品種の満開は「十郎」は2月7日(平年より5日早い)、「白加賀」は2月22日(平年より7日早い)だった。</p> <p>②着花(果)状況 1月に比べ2月の天気、特に後半が不安定でミツバチが飛ぶ環境にはあまりならなかった。着果は「南高」を除き、平年に比べ70%程度の予想。</p> <p>③生育進度 花が咲き終わってからの天候は不順で、風雨また寒い日も多く、一部の地域で雹も降った。開花が早かった割には、玉伸びは遅れている。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 これからの天候にもよるが、これまでの天候不順で病害虫の発生が多くなる予想。</p>
山梨	<p>①開花日(前年比、平年比) 本年は2月16日に開花し、前年より1日早い。</p> <p>②着花(果)状況 平年並。</p> <p>③生育進度 暖冬の影響により、前年より早く推移している。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 特になし。</p>

長野	<p>①開花日(前年比、平年比) 早い地区の開花は1月17日頃(前年並)</p> <p>②着花(果)状況 3月の天候不順により不受精あり。</p> <p>③生育進度 開花は早かったが、3月の天候により生育は足踏み。概ね平年並～やや早い傾向。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他</p>
静岡	<p>①開花日(前年比、平年比) 1月下旬～2月上旬で平年より早い(志太地区)</p> <p>②着花(果)状況 「白加賀」は着果少なめ、多品種も比較的少ない印象(志太地区)</p> <p>③生育進度 開花は早かったが、3月の低温により、平年並からやや遅い(志太地区)</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 特になし(志太地区)</p>

三 重	<p>(J A伊勢 三重南紀地区)</p> <p>①開花日(前年比、平年比) 1月の気温が高めに推移したことから、開花は平年より7日程度早まった(前年より14日早い)。</p> <p>②着花(果)状況 開花が早すぎた為、受粉がうまくいかなかったのか、やや少なめである。</p> <p>③生育進度 1月から2月の気温が高めであった為、平年より7~10日程度早めに推移したが、3月の気温が低めに推移した為、平年より3日程度の早さの生育状況となっている。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 特に問題となっているものはなし。</p>
-----	--

奈 良	<p>①開花日(前年比、平年比) 開花始め 「白加賀」：2月18日(前年より18日早く、平年より13日早い) 「南 梅」：2月16日(前年より19日早く、平年より14日早い) 満開期 「白加賀」：2月24日(前年より15日早く、平年より14日早い) 「南 梅」：2月24日(前年より14日早く、平年より9日早い)</p> <p>※奈良県果樹・薬草研究センター内</p> <p>②着花(果)状況 着花は平年並。着果は調査中。 開花期間中は低温で降雨量が多かったため、不作傾向になる可能性が高い。</p> <p>③生育進度 平年より早く開花始め、満開期ともに早く、開花期以降低温が続き、開花期間が長かった。 満開期以降気温が上昇したため、生育はやや早い~平年並で推移している。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 令和5年産の「南梅」について、かいよう病の発生を確認。</p>
-----	---

和歌山	①開花日(前年比、平年比)
	開花始め 日高地域 1月15日 (前年2月9日、平年2月4日) 西牟婁地域 1月20日 (前年2月11日、平年2月7日～8日)
	満開期 日高地域 1月29日 (前年2月19日、平年2月11日) 西牟婁地域 1月30日 (前年2月16日、平年2月15日)
	②着花(果)状況 主産JAでは、4月中旬に着果調査を実施する予定。
③生育進度	開花は早かったが、展葉までが遅く生育進度は平年並。
④病害虫の発生状況、その他	一部園地で、ヨコバイの発生が見られる。 当初から着果数が少なかったことに加えて、3月20日に一部地域で降雹があり、果面にスレ傷等の被害が発生した。

徳島	①開花日(前年比、平年比)	
	開花始期は2月5日、満開日は2月27日。 2月の日中は暖かく開花始期は前年より3日程度早かったが、夜温が低めで推移したため満開日は前年と同時期となった。	
②着花(果)状況	着花は良好。開花期に降雨日が多く、受精不良により着果不足が懸念される。	
③生育進度	開花期以降の平均気温が低めで推移したため、やや遅延傾向。	
④病害虫の発生状況、その他	カメムシ類がほ場および周辺で散見されている。今後、果実への被害が危惧される。	
愛媛	①開花日(前年比、平年比)	
	平年並～やや遅い	
	②着花(果)状況	平年並。 不完全花の発生が多かった。
	③生育進度	平年並。
④病害虫の発生状況、その他	病害虫の目立った発生はない。	

福 岡	<p>①開花日(前年比、平年比) 「小梅」 2月6日 (前年より14日早い) 「南梅」 2月9日 (前年より14日早い)</p> <p>②着花(果)状況 3月の低温・曇天影響により着果不良。</p> <p>③生育進度 開花は早かったものの、3月の曇天・低温の影響により生育は鈍化している。 収穫時期は平年同時期となる見込み。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他</p>
-----	--

佐 賀	<p>①開花日(前年比、平年比) ・満開日 「小梅」：2月10日頃 「南梅」：2月15日頃 ・開花は、全体的に前年比10日程度早く、平年比3日程度早かった。</p> <p>②着花(果)状況 ・全体的に少ない。 ・特に、「光陽」、「古城」は着果が少ない。 ・樹園地毎の、バラツキが大きい。 ・めしべ(柱頭)の不完全花が散見された。</p> <p>③生育進度 ・開花は、全体的に早かったものの、その後の低温(寒波)、降雨、日照不足等により発芽・展葉期以降の生育は鈍化した。 ・現在は、前年及び平年と比べて遅い状況。 ・このところの日照不足に加え、夜間の冷え込みが続いており、生育への影響が懸念される。</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 ・曇天日が続き、かつ生育初期から肥大期にかけての降雨量が多いことから、黒星病等の被害が懸念される。</p>
-----	---

鹿児島	<p>①開花日(前年比、平年比) 開花は1週間～2週間程度早い。</p> <p>②着花(果)状況 着花量は確保できたものの、2月末の悪天候によりミツバチの動きが悪かったこと、3月2日～3月3日の低温被害により、着果量はかなり少ない。</p> <p>③生育進度</p> <p>④病害虫の発生状況、その他 灰色カビ病の発生がある。</p>
-----	---